

第17回 プロネクサス 懸賞論文募集

応募締切:2025年10月20日(月)

資本市場の発展に あなたの提案を

日本の企業ディスクロージャー・IRを
より効果的で効率的なものにする研究活動を支援します。

株式会社プロネクサスは、
企業のディスクロージャー・IRにおける実務サポートを
提供する専門企業であることから、
CSR活動の一環として2009年より
「プロネクサス懸賞論文」を開始しました。
本年も引き続き、「第17回プロネクサス懸賞論文」を募集いたします。
学生、若手研究者、社会人等の方々から、
研究レポートやご提案をいただき、
資本市場の健全な発展に寄与していきたいと
考えております。

詳しくは、専用ホームページをご覧ください。

<https://www.pronexus.co.jp/home/souken/info/index.html>

お問合せ・応募はこちらまで

(株)プロネクサス
ディスクロージャー企画業務推進部 調査研究チーム
懸賞論文係 小林・原口
〒105-0022
東京都港区海岸1-2-20汐留ビルディング5F
E-mail: souken@pronexus.co.jp

募集要項(概要)

■テーマ

『上場会社のディスクロージャー・IRをより
効果的、効率的なものにするための研究
および提案』

(備考) 1.実証結果を出すための実証分析に関する論文は不可と
しますが、提案を補強するための実態調査、ケース分析
等を論文の一部に含めることは可とします。
2.IRの具体的な表示方法等の工夫を提案することは可と
します。

■応募資格

【部門Ⅰ】

個人による研究または2名による共同研究
(応募資格)

40歳以下(2025年10月20日現在)で日本在住の大学生、大
学院生、研究者、一般社会人等(共同研究の場合は、2名とも)

【部門Ⅱ】

大学生グループによる共同研究
(応募資格)

同一大学に在籍する大学生(2025年10月20日現在)によ
る3名以上10名以下のグループ(代表者1名を含め10名以
下)(例えば、XX大学XXゼミナール、XX大学XX研究会等)

なお、論文・要旨・応募メールには、応募部門(部門Ⅰまたは部門
Ⅱ)および執筆者名・共同研究者名を明記すること。

■応募締切

2025年10月20日(月)[当日消印有効]

受賞者名は、2026年1月頃に弊社ホームページにて発表。

■賞金

最優秀賞 50万円

優秀賞 30万円 佳作 10万円

(部門Ⅰ及び部門Ⅱともに上記金額)

■審査方法

下記の審査委員で構成する審査委員会にて審査を行います。

委員長	黒川 行治	慶應義塾大学 名誉教授
委員	新井 武広	前 会計教育研修機構 代表理事専務
委員	川村 義則	早稲田大学商学学術院 教授
委員	小宮山 賢	前 早稲田大学大学院経営管理研究科 教授
委員	佐藤 明	株式会社バリュークリエイティブ パートナー
委員	多賀谷 充	青山学院大学大学院 教授
委員	上野 守生	株式会社プロネクサス 名誉会長

(敬称略)

■後援

株式会社日本取引所グループ
株式会社東京証券取引所

第16回プロネクサス懸賞論文審査結果

【部門Ⅰ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 該当なし

佳 作 該当なし

【部門Ⅱ】

最優秀賞 該当なし

優秀賞 1本

■一橋大学 商学部 円谷昭一ゼミナール 3年
神原 晴太郎、愛川 優、直原 龍之介、鈴 遥平、永瀬 健翔、
藤本 恵花、宮本 花弥
「スキルマトリックスは利用者の期待に込めているカー人的スキルに焦点
を当てつつ」

佳 作 2本

■千葉商科大学 商経学部 根岸亮平ゼミナール 4年
津布久 梨奈、作山 大剛、齋藤 翔
「有価証券報告書における「マテリアリティ」の開示実態」

■東京経済大学 経営学部 井上普就ゼミナール 2年
荒井 陽太、大久保 彩夏、辻内 祥妃、牧岡 克知
「役員報酬における業績連動報酬の市場間の開示実態の分析」